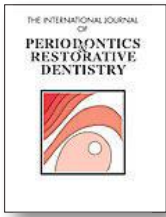


Laser-Lok により改善された他社インプラントの予後



The effect of laser-etched surface design on soft tissue healing of two different implant abutment systems: An experimental study in dogs.

レーザーエッチング表面が 2 種類のインプラントアバットメントシステムの軟組織治癒に及ぼす影響：イヌを用いた動物実験

Neiva R, Tovar N, Jimbo R, Gil LF, Goldberg P, Barbosa JP, Lilin T, Coelho PG. *Int J Periodontics Restorative Dent*, Volume 36, Number 5, 2016. P. 673-679.

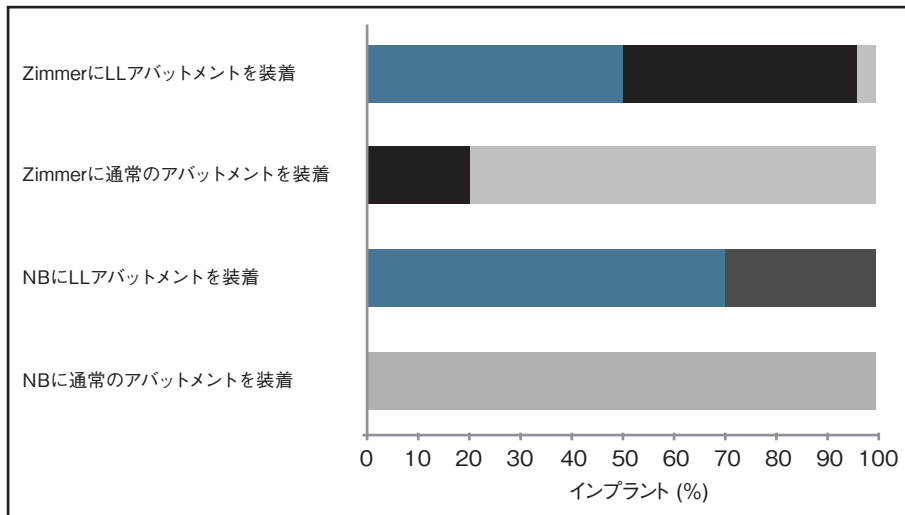


図1 頬舌側の両フランジにおける、JE 最根尖側の組成の略式ヒストグラム。

- インプラント-アバットメント接合部またはその下方
- アバットメントのLL領域
- アバットメントのLL領域より歯頸側

要約

本研究では、ビーグル犬を用いて、平滑表面アバットメントまたは Laser-Lok アバットメントを装着した 2 種類のインプラントシステム周囲の初期の軟組織形態を評価した。8頭のビーグル犬の下顎臼歯抜歯治癒部位にインプラントを埋入し、7週間を治癒期間とした。接合上皮(JE)の最根尖側がレーザーエッチング領域より上またはその領域内に位置する場合は、結合組織線維はアバットメントの表面に対して垂直に配向していた。

材料と方法

本研究には、2 種類のインプラントシステム、Zimmer Tapered Screw-Vent Implants (n=16) と Nobel Tapered Groovy (n=16) を使用した。それぞれのインプラントシステムに対して、通常の機械研磨アバットメント、および歯頸部に Laser-Lok を付与したアバットメントの 2 種類を装着して評価を行った。イヌに埋入したインプラントは、近心-遠心でシステムを変更し、それぞれに機械研磨アバットメントおよび Laser-Lok アバットメントを装着した。7 週間の治癒を待ち、サンプリングした。

結果

ヒストグラムは、JE 位置によってマイナス(グレー)またはプラス(ブルーおよびブラック)とし、その割合を示している。インプラントシステムに依存することなく、Laser-Lok アバットメントを装着していないインプラントのマイナスを示した割合は、顕著であった。